アーキテクトグランドデザイン株式会社（AGD）｜人材サービス事業部

# セミナー事業のご案内

企画・集客・当日運営から、アンケート分析と報告書の提出まで ― 「開いて終わり」にしない、検証可能なセミナーの一貫運営

AGDのセミナー事業は、産業・政策・人材をテーマにしたシンポジウムや講演会を、企画から事後分析まで一貫して運営する事業です。特徴は、開催そのものではなく、その先にあります。参加者の声を定量・定性で分析し、示唆と次の施策までを報告書として納品することで、セミナーを一過性のイベントではなく、事業と政策を前に進めるための材料に変えます。

## 実績ハイライト ― インドネシア経済・産業・人材シンポジウム（長崎）

| 154名 | 107団体 | 91% | 4社 |
|---|---|---|---|
| 総参加者（会場86名＋オンライン68名のハイブリッド開催） | 参加した企業・団体・行政機関の数 | シンポジウム全体への満足度（「とても満足」「満足」の合計） | 取材・放映した地元メディア（テレビ・新聞）の数 |

| | |
|---|---|
| **実施事例** | インドネシア経済・産業・人材シンポジウム（2026年2月27日、長崎市内で開催） |
| **参加者構成** | 県庁・自治体関係者47名を筆頭に、製造業33名、人材・教育（大学等）16名、メディア11名、コンサルティング11名、ITベンダー11名など。政策・産業・教育・メディアを横断する集客を実現 |
| **担った役割** | 企画運営、アンケートの設計・実施、定量・定性分析、示唆・考察の取りまとめ。共催先である長崎県（産業労働部未来人材課）へ正式な調査報告書を提出 |
| **メディア掲載** | NBC長崎放送、長崎文化放送で放映（テレビ長崎、長崎新聞社も参加） |

| 87% | 80% | 83% | 33件 |
|---|---|---|---|
| 各講演の理解度（「理解できた」「概ね理解できた」） | パネルディスカッションの理解度 | 「内容が業務・事業に役立つ」（「大いに役立つ」「ある程度役立つ」） | 参加目的の最多は「インドネシアとの事業・連携・協力の可能性を探るため」 |

## 分析が、次の施策を生む

自由記述の回答は、プロフェッショナル・キャリア・カウンセラーを含むAGDの分析チームがカテゴリー分類し、生の声から示唆を抽出します。本シンポジウムでは、参加者が「インドネシアの成長への期待」と「日本・長崎の将来への危機感」を同時に抱いていることが明らかになり、分野別ではEV・スマートシティ・防災・人材に連携ニーズが顕在化しました。とくに人材分野については「期待が高い一方で、受入・活用の具体的スキームが不足している」という空白を特定し、育成就労モデルの構築という次の施策につなげています。

このように、セミナーの成果物は当日の盛況ではなく、**次に何をすべきかを示す分析と提言**です。報告書には以下の施策案までを落とし込みました。

- 海外展開支援の具体化（ビジネスマッチング・進出支援）
- 重点分野の戦略化（EV・スマートシティ・防災の官民連携プロジェクト創出）
- 人材受入スキームの構築（受入・育成・定着までの制度設計）
- 継続的な交流基盤の整備（企業・自治体・教育機関のネットワーク形成）

## AGDの進め方 ― 一貫運営の流れ

**1. 企画**
テーマ設計、講師・パネリストの選定と調整

›

**2. 集客**
行政・産業・教育・メディアへの案内設計と広報

›

**3. 当日運営**
対面／オンラインのハイブリッド運営、メディア対応

›

**4. 分析・報告**
アンケートの定量・定性分析、示唆と施策案を報告書に

›

**5. 次の施策へ**
プロジェクト組成、研修・人材事業への接続

テーマ実績：半導体産業（AGD主催 半導体シンポジウム）、スマートシティ・IoT（自治体との共催シンポジウム）、海外産業・人材（インドネシア等）。自治体との共催、企業単独の社内セミナー（管理職研修等）のいずれにも対応します。教育事業（企業向けカスタム研修）と組み合わせた設計も可能です。

**アーキテクトグランドデザイン株式会社**　人材サービス事業部　　お問い合わせ：小出貴子（tkoide@a-gd.jp）